

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 11		道路橋りょう管理運営事業					☐ 法定受託事務		
所管課	都市整備部 道路河川整備課				評価者		道路河川整備課長 小川 拓也			
一般	会計	款	45	項	10	目	5			
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備			施策の方針名		道路・橋りょうの整備・維持管理			

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査（道路橋りょう運営事業に名称変更）	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査（道路橋りょう運営事業に名称変更）
予算額（千円）	5,205	5,205	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	5,205	5,205	0
当初人員配置数	0.5	0.5	0.0
人件費（千円）	4,269	4,413	0
事業実績	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査（道路橋りょう運営事業に名称変更）	工事の発注に必要な公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査（道路橋りょう運営事業に名称変更）
決算額（千円）	5,169		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	5,169	0	0
人員配置実績数	0.5	0.0	0.0
人件費（千円）	4,142	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	工事積算に必要な事務（積算システム利用契約及び資材単価調査）の実施率	%	100	⇒	100		
	実績につながる活動	工事資材単価調査業務委託料や市町村積算システム利用料等、適切に執行した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・工事積算に必要な事務を確実に実施した結果、目標値に対して大きな乖離はなかった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	本事業は、工事積算に必要な市町村積算システム利用料や工事資材単価調査業務委託料を適切に執行する事業であり、成果指標にはなじまないため、比較分析は行わない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
		事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	効率性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
		公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定
方向性		評価実施年度の方向性 ⇒ 評価実施翌年度以降の方向性M71:AE74G60M71			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	今後も事業を継続し、着実に工事を発注することで、適切な道路施設の維持管理を行い、豊かな暮らしや安全で安心できる環境の創出を図っていく。			

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	工事積算に必要な事務（積算システム利用契約及び資材単価調査）であり、自治体の規模や職員数により、状況が異なることに加えて、年度ごとでも異なることから、他市比較による評価は困難で、他市比較は適切でないと考え。
----------------------	---